

# 会 議 議 事 録

1 会議名	第1回長岡市総合計画策定委員会
2 開催日時	令和6年11月12日（火曜日） 午後6時30分から午後8時30分まで
3 開催場所	アオーレ長岡 東棟4階 大会議室
4 出席者名	<p>（委員）※50音順、敬称略</p> <p>長岡西陵スポーツクラブ代表 石坂 陽之介          有限会社大島鉄工所専務取締役 大島 健          長岡商工会議所会頭 大原 興人          長岡技術科学大学国際産学連携機構 主任 UEA／特任講師 勝身 麻美          慶覚寺住職 ガーヴィー春龍          長岡医師会会長 草間 昭夫（オンライン）          長岡市社会教育委員兼長岡市公民館運営審議会委員 黒崎 千賀子          コンドウ印刷株式会社代表取締役 近藤 保子          株式会社サカタ製作所代表取締役社長 坂田 匠          長岡造形大学理事長 佐々木 順子（オンライン）          長岡技術科学大学教授 佐野 可寸志          たかの社会保険労務士事務所代表 高野 真規          社会福祉法人長岡三古老人福祉会理事長 田中 晋          長岡工業高等専門学校副校長 外山 茂浩          NPO 法人ふるさと未来創造堂常務理事 中野 雅嗣          山信織物株式会社取締役営業部長 西片 吉邦          公募委員 ヌル アデリン          公募委員 原 祥汰          新潟工科大学 教授 樋口 秀          株式会社第四北越銀行取締役会長 広川 和義          子育ての駅ながおか市民防災センター「ぐんぐん」 施設長 山岸 麻美          長岡市教育委員会事務評価委員会委員長 山田 修          FMながおか企画営業部制作主任 山田 光枝          ながおか市民協働センター長 渡辺 美子          （長岡市）          市長 磯田 達伸</p>

	<p>産業政策監、地方創生推進部長 長谷川 亨  ミライエ長岡担当部長 五十嵐 正人  女性活躍推進担当部長 茂田井 裕子  DX 推進部長 新沢 達史  観光・交流部長 高野 徹也  子ども未来部長 星野 麻美  政策企画課長 五十嵐 智行  政策企画課長補佐 早川 裕之  政策企画課係長 平野 絵里子  政策企画課係長 相川 良澄  政策企画課主査 浅野 望美  政策企画課主任 宮崎 駿</p>
5 欠席者名	有限会社ホープイン中沢代表取締役社長 駒野 亜由美
6 議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 次期長岡市総合計画の策定について【資料1】</li> <li>2. 長岡市の人口等の現状について【資料2】</li> <li>3. 総合計画の進捗及び成果について【資料3】</li> <li>4. グループ討議・発表（6グループ）</li> </ol>
7 審議結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次期長岡市総合計画の策定に向けた方向性やスケジュール、長岡市の現状等について説明した後に、現在の総合計画の進捗状況について説明をした。</li> <li>・ 6グループに分かれ、「長岡市の現状について」「10年後の長岡に向けて重視すべき視点について」の2テーマでグループ討議を実施し、意見の共有をした。</li> <li>・ 今後の策定作業において、委員からの意見を反映していく。</li> </ul>
8 審議の内容	
産業政策監 （地方創生推進部長）	<p>本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。これより、第1回長岡市総合計画策定委員会を開催いたします。進行を務めます、長岡市産業政策監、地方創生推進部長の長谷川と申します。どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>はじめに、磯田市長より挨拶申し上げます。</p>
市長	<p>本日は、是非気軽な気持ちでご参加いただきたく考えております。本日</p>

お集まりいただいた方は長岡市の様々な分野のリーダーとして最も活躍いただいているメンバーです。心から御礼申し上げます。

委員長、副委員長は私から指名する決まりですので、最初に申し上げます。委員長には長岡商工会議所会頭の大原興人さん、副委員長には第四北越銀行会長、長岡商工会議所副会頭の広川和義さんと、長岡造形大学理事長の佐々木順子さんをお願いしたく思います。

会議も 18 時半からの開始であり、皆さまにとって集まりやすい時間帯かと思ひ設定した次第です。今後の日時については、皆様方のご意見をいただきつつ決定いたします。

2025 年度に、10 年間の長岡市総合計画を策定することが皆さまにお願いしている内容です。様々な観点からこれからの 10 年間のビジョンを作ることになります。私の任期は 4 年間あるため、私の市政方針を超えた長期の計画であることを皆さまにも意識いただければと思います。

時代は変わってきており、日本社会・経済、あるいは世界の情勢も激変している時代です。「10 年後のことはわからない」という方もいるかと存じますが、5 年間で区切りをつけて見直すということになっておりますので、皆様の思いを本会議の中でぜひ出していただきたいと思ひます。

私は行政のトップとして、いただいた税金を使い、政策を展開・実施する立場にあるため、現実的な考えになってしまひますが、例えば、資料 2 の p8 では、「人口減少をどのように止めるのか」が一つの視点になるかと思ひます。日本全体の人口減少動向が長岡市にも如実に表れておりまして、具体的には、生まれる子どもの数が半分になっています。また、長岡市の合計特殊出生率は現在 1.37、日本全体でみると 1.20、東京都は 0.99 です。私は地方の人口減少の原因は東京一極集中にあると考えていますが、長岡の若い方が子どもを産んでいただく数自体も減少していますので、そういう意味では長岡市の出生数も減少している状況にあります。参考までに、韓国では 0.72、速報値では 0.68 とされています。韓国では少子化の国になっている。非常に危機感が高まっているかと思ひます。こうした状況は、経済発展においても日本が韓国を追随するように、少子化の進行に関しても今後追随する可能性があると考えており、危機感を持っています。

このような背景の中で、石破首相は主要な政策として地方創生を掲げております。過去、田中角栄氏が推進した「日本列島改造論」では、全国各地に公共事業を展開し地方を発展させました。しかし、現在そのような公共事業の予算はなく、地方全体にお金を回すのは難しいと考えます。今後は、拠点都市に資金を集中させ、拠点と拠点を道路で結ぶ拠点ネットワーク

ク型がこの地方創生の形に必ずなると考えています。私としては、長岡をその拠点の一つとすることを3期目の目標としています。拠点ネットワークの狙いは、人口の集中や流入、特に若者の回帰を受け入れることで人口減少を食い止め、経済を発展させるストーリーであり、この取り組みを実現したいと考えています。

長岡市では、8年前からイノベーションや子育て支援に力を入れてきました。このような施策を参考にしつつ、皆様からのご提言やアドバイスをもとに計画に盛り込んでいければと考えています。それぞれの分野で様々な視点があるかと思しますので、皆様のご意見を取り入れながら、長岡の人口減少に歯止めをかけ、明るい未来を作りたいと考えています。

今回策定する総合計画が、経済だけでなく地域の発展や公共サービスの充実など、住みよいまちの発展につながるようにしていきたいと考えます。

本議論は市民の皆様にも公開し、長岡市民の想いを反映させつつ計画策定を進めていきたいと考えています。会議は今後5回予定しております。議論にタブーは無いので、どのような意見でも出していただき、皆様の想いが載るように作成したいと考えています。

産業政策監  
(地方創生推進部長)

それでは、ここからの議事につきましては、大原委員長にお願いしたいと思えます。

委員長

それでは、(1)「次期長岡市総合計画の策定について」、(2)「長岡市の人口等の現状について」、(3)「総合計画の進捗状況及び成果について」、まとめて事務局から説明をお願いします。

産業政策監  
(地方創生推進部長)

### 1. 次期長岡市総合計画の策定について

それでは、資料1に基づき、次期総合計画の策定についてご説明いたします。総合計画は長期的かつ総合的な視点で市政運営の基本構想を示すもので、行政運営における最上位計画です。平成23年までは地方自治法で10年単位での策定が義務付けられていましたが、現在では義務はありません。しかし、長岡市では中長期的なビジョンを掲げた政策実施のため、計画を継続して策定しています。

現行の総合計画は目標数値のない基本構想のみで構成されていましたが、次期総合計画では、基本構想と基本計画の二階建ての構成を取ります。基本計画には、人口減少対策を含む100以上のKPIを設け、市長のマニフ

エストも反映させる予定です。基本構想は10年間、基本計画は5年間とし、社会経済情勢の大きな変化があれば見直しを行います。

今回の会議では、6回のセッションを通じて皆様からの自由な意見やご提案をいただき、計画案を検討していきたいと考えています。また、会議以外の場でも積極的にご意見を吸い上げていただければと思います。さらに、市議会議員や市民の皆様との意見交換会の場も設ける予定です。

長岡市としては、地方創生や人口減少対策において、今後数年が正念場であると捉えており、総合計画を実効性の高いものにしていきたいと考えています。本日のグループ討議も、皆様のご意見を的確に反映するための重要なステップです。これまでも商工会議所の地域活性化委員会で、分野別の議論と提言をいただいています。さらに、長岡大学の地域連携研究センターにも人口トレンドや経済分析を依頼し、先日も学長ほか大学関係者と2時間にわたる議論を行いました。

現在、市内の大学や専門学校の学生にもインタビューを進めており、今後は東京在住の長岡出身者へのインタビューも予定しています。

また、本策定委員会そのものを含めて、皆さまからご意見を伺う一連の動きを『ながおかミライカイギ』としてブランディングし、ロゴデザインを施して市民への周知を図る予定です。

12月には市民5000人を対象としたアンケートを実施し、市民の幸福度や長岡市に対する満足度、施策の達成度を測る指標として活用したいと考えています。現時点での設問案は配布した資料にありますので内容をご覧いただき、後ほどご意見をお願いします。本アンケートの回答結果はKPIとなるため、毎年同じ設問で推移を確認したいと思います。

## **2. 長岡市の人口等の現状について**

次に、資料2「長岡市の人口等の現状について」をご覧ください。本年4月時点の人口は10年前と比べて約8.1%、22,776人減少しており、11地域すべてで減少が進んでいます。人口推計では、2050年には20万人を下回り、0歳から14歳の年少人口も2020年比で57%減少する見込みです。

また、合計特殊出生率も2023年は1.37と低く、今後の人口減少対策においては根拠なく右肩上がりの未来を描くことは難しいと考えており、調査や推計値などを根拠に委員の皆さまと議論したいと思います。

## **3. 総合計画の進捗状況及び成果について**

資料3「総合計画の進捗状況および成果」をご確認ください。現総合計画では、産学連携による産業投資や人材育成等、未来を担う次世代への投

資に取り組んでいます。また、人口減少緩和策として、インフラの維持整備や中山間地域のコミュニティ推進を積極的に応援してきました。しかしながら、出生数の減少や若年層の転出により、人口減少に歯止めをかけるには至っておりません。次期計画では、人口減少対策を最重要課題としてさらなる取り組みを行うことが急務です。詳細は3ページ以降に記載していますのでご確認ください。

委員長

資料1から3までの説明がありましたが、ご質問やご意見はありますか。特に無いようですので次の議題に進みます。

続きまして、(4)「グループ討議・発表」に入らせていただきます。各グループごとに、「長岡市の現状について」、「10年後の長岡に向けて重視すべき視点について」意見交換をお願いします。それではファシリテーターの方、よろしくをお願いします。

#### 【グループごとに意見交換】

委員長

それでは時間となりましたので意見交換を終了し、各グループごとに出されたご意見について各グループごとに概ね3分程度で発表をお願いしたいと思います。それでは1番テーブルからお願いします。

委員

#### グループ1

まず、テーマ1について、子育て環境についてですが、意外と子育てしにくいと感じる面があるという話が出ました。また、健康寿命を延ばし、みんなが長く働けるような状態を作ることの重要性、さらに夫婦共働きが必要な中で母親の働く環境が十分ではない点も課題とされました。実際に、聖籠町では子育て環境が良いという話もあり、それについて調査してみるのも良いのではという意見が出ました。

次に、空き家が増加しているという点についてです。特に若い人たちはマンションに住む傾向が強いですが、雪下ろしの負担があるからではないかと意見が出ました。雪下ろしに対する補助が出れば空き家に住む人も増加するのではという提案もありました。

また、長岡市で行われている多くの取り組みが一本化されていないため、成果がわかりにくいという話もありました。

さらに、地元企業の給与水準が低く、特に大学生が卒業後に他の地域へ流出してしまうという問題も指摘されました。これに対して、長岡市とし

てどのように給与水準を上げることができるかを議論しました。その中で、補助金の確保やブランディング戦略が重要だと考えました。燕三条のように地域ブランディングを行えないか、という話が出ました。

また、現在は縦割りで行われている様々なイベントや事業を協力して一本化することで、より効果的な運営ができるのではないかという意見も出ました。市役所の職員の給与を引き上げることも提案され、加えて、市と企業が協力して税収を上げる取り組みを進められないかという話もありました。さらに、県内外でのマーケティングや、長岡市が取り組んでいるマッチボックスの効果検証も重要であると会話しました。

テーマ2の「10年後の長岡に向けて重視すべき視点」に関しては、少子化が進む中で出生数の増加は難しいため、他の方法を考える必要があると会話しました。少子化が進むと小児科の維持も難しくなるのではないかという懸念があり、産科病院の維持についても議論が必要です。研修医の長岡市への定着も、今後の長岡の医療に影響を与えられと考えられます。

また、大学の維持についても課題があり、統合などの新たな方法を検討する可能性もあるとの意見が出ました。そして、若者が長岡に戻ってきて生活できる場所を作り、全世代が集えるまちを目指すべきだ、という意見もありました。観光やインバウンドにさらに力を入れること、義務教育の充実、子どもが遊びながら学べる場の提供なども提案されました。

委員

## グループ2

我々のグループは、私自身が子育て中ということもあり、子育てに関する話を中心となりました。少子化や人口減について議論がありましたが、人口減少が本当に悪いことなのか、緩やかに人口減少に向き合いながら地域のあり方を見直していくことも大事ではないかという意見も出ました。人口減少を食い止めるためには少子化対策が必要という話が多く出ましたが、それだけではないのではという意見もありました。私は4人の子どもを育てていますが、自分の人生を振り返り、子育てが自己実現の足かせになっていると感じた時期もありました。そのような負担が今後の世代の人たちには少しでも軽減されるような仕組みを作るべきではないかと感じました。

また、地域とのつながりや、長岡市がどのように人口減少に対応していくかについても議論しました。特に、過疎地域では福祉や公共サービスの維持が課題となっているため、これらのサービスをどのように確保していくかも大事な視点だと思います。

テーマ2について、結論として「子どもをみんなで育てることができる

街」を目指したいという話が出ました。また、男女問わず、どんな人でも自分のやりたいことを自分で決めて実現できる街にしていきたいという意見もありました。

今までのような「結婚すれば女性は男性の扶養に入る」といった概念は、今や見直す時期に来ているのではないかと思います。私自身もそれを強く感じており、性別や立場にかかわらず、誰もが子育てや自己実現を安心して行える社会が理想です。それは女性だけでなく、男性やその他の人々にも当てはまり、誰もが自分らしく生きられる街になればと思います。

### グループ3

「4大学1高専」が県外においても有名な言葉になりつつあり、学生を大切にしていってほしいと考えています。一方で、学生の定着率が低いことは大きな課題だと思います。アオーレ長岡や、ミライエ長岡を知らない学生も多いことは衝撃でした。多くの学生が長岡に来ては勉強だけして、卒業後は地元や県外に戻ってしまうこともあります。学生が長岡に「住んでみたい、残りたい」と思えるような町づくりができればと感じています。

また、寺泊など交流人口の多い地域があることは長岡の強みで、人口減少が進む中でも長岡全体として地域間の連携が重要だと考えました。

外国人労働者の受け入れが不可欠であるという結論に達しました。日本人の人口が減少していく中で、地域の維持には外国人の存在が不可欠になると思いますが、特に高齢者の間では外国人への抵抗感が課題となる可能性があります。そうした抵抗感を和らげ、外国人にも住みやすい魅力的な街づくりを進めることが必要だと考えました。

もう一つの課題として、町内会の活性化も挙げられました。長岡市全体だけでなく、各町内会も若い世代や若い夫婦が参加しやすい、負担が少ない体制に整えることが重要だと考えます。住みやすく、地域のつながりが生まれる環境が整うことが理想だと感じています。

### グループ4

テーマ1について、人口減少への対応が主な話題となりました。「人口減少は避けられない現実である」との認識が多く、可能な範囲での緩和を目指していくべきだという結論に達しました。

人口減少への対応としては、4大学1高専を活用し、若者が卒業後も長岡に定住したいと思える生活基盤の整備や、企業の支援強化が重要と意見が出ました。また、市外や県外、海外からの人材流入も欠かせないと考えました。子どもを作る環境の整備や経済的補助も重要と意見が出ました。

委員

委員

また、高齢者への生活支援の拡充も含めて、こうした4つの柱が人口減少の緩和策として必要とされました。

さらに、地域の幸福度とウェルビーイングに注目することが重要で、長岡市には多くの魅力的なイベントがあるものの、そうした本質的な地域の魅力をもっとアピールするべきという話も出ました。地域資源の活用など、地域の魅力を内外に発信することも必要と会話しました。

テーマ2の10年後に向けた視点としては、具体的なKPIを明確に設定し、数値に基づいた目標達成に向けたPDCAサイクルの徹底が重要であると意見がまとまりました。現時点で持っているアンケート調査の結果を活用し、待つだけでなく先に動いて積極的に施策を展開するべきと考えました。

### グループ5

他のグループと同様、人口減少と県外流出が主要な課題として挙げられました。長岡市の産業構造において、建設業や製造業が多いかと思えます。ITやプログラミングへの興味を持つ若者の場合は、東京などへの流出しているのではという意見が出ました。

また、人口減少は仕方がない一方で、他市・他県とパイを奪い合っているため、解決は難しいという意見が出ました。

長岡市の現状への対応策として、4大学1高専NaDeC構想を活用した取り組みが重要という意見が出ました。

外国人の方は、10年後には現在の約2600人から4000人に増えると予想されています。外国人の方が長岡で快適に過ごせるよう、日本文化に触れる教育的な要素の提供も必要だとの意見が出ました。

テーマ2について、子育て環境の充実が不可欠です。母親や女性のキャリア支援を含めた人生設計の支援や、高齢者が健康でいることで地域に活力を与えていただくことが重要だと思います。労働人口が減少する中で、生産性向上も課題だと思います。外国人労働力の活用だけでなく、小学生の段階からのデジタル教育を進め、長岡の教育に特色を持たせることで地域のブランド化を目指すべきだと考えています。

### グループ6

まず、テーマの設定が曖昧であるとの指摘がありました。10年後の長岡市に向けて重視すべき視点について、具体的な責任を持つべきだ、というご意見をいただきました。特に「人口減少対策として何ができるか」が議題となりましたが、働き方の改革がその鍵となるのではないかとのこと

委員

委員

でした。具体的には、市民の意識改革がまず必要であり、行政が率先して働き方改革を推進することで市民や企業への波及効果が期待できるといった提言がありました。特に市役所の職員がノウハウを共有し、働き方改革を広げていくことで市民の生活改善にも繋がるのではないかと、という話がありました。

また、地方の優秀な行政職員の副業・兼業が解禁されれば活躍が期待できるといった提案が出ました。人材の流動性が増し、余裕が生まれることで産業も活性化し、働く意欲も高まり、ライフワークバランスの向上が家庭を持つ意欲にも繋がるのではないかと、という話がありました。

さらに、少子高齢化が進む中で、人口減少が必ずしも悪ではなく、むしろ市民一人ひとりの幸福度を重視することが必要ではないかという意見がありました。高齢者も社会で役割を果たし、健康寿命を全うすることで生活にハリが出るという話が出ました。

また、長岡市には多くの支所地域があり、これら地域をどう支えるかについても意見が出ました。集まれる人が集まるコンパクトシティが必要で、地域全体で支え合う仕組みを作ることで、例えば祭りやイベント時に人手が必要な際、余裕のある人が地域を越えてサポートできる体制を整えるべきだとの話がありました。

最後に、子どもを持つことの難しさやLGBTQといった多様な家族のあり方にも触れ、従来の家族観を超えて新しい価値観を受け入れることが、今後の社会における突破口となるのではないかと指摘がされました。こうした視点から、今の価値観に囚われず、新たな未来を見据えることが必要だと感じた次第です。

委員長

ありがとうございました。

皆さんから発表いただきましたご意見は、市の総合計画庁内策定会議と共有し、計画案策定の検討材料とします。

本日予定していた議事はこれで終了となります。司会進行を事務局にお返しします。

産業政策監  
(地方創生推進部長)

委員長、進行をありがとうございました。

第2回策定委員会は2025年2月13日(木)14時より予定しています。内容は、市民アンケートやインタビュー結果を基に人口の将来展望や政策の方向性についての議論を予定しております。日程が近くなりましたら再度ご案内いたしますので、予定を確保いただきたく存じます。

発表された意見やまとめられた内容については、今後どのように政策に

反映するかが問われることとなります。また、テーマが大きく、議論にはさらに深めたい内容が多々あったと感じておりますので、次回の策定委員会では、より深掘した議論ができるよう進めていきたいと考えています。

本日の討議内容は議事録として公表予定ですので、事前に皆様にご確認いただき、公開いたします。

また、先ほどのながおかミライ会議のロゴデザインに関しても、改めて皆様にメールでご意見をお伺いしますので、デザインの選定にご協力いただければと思います。最終的にはご意見を踏まえ、長岡造形大学とブラッシュアップの上、完成させる予定です。

本日は貴重なご意見を多数いただき、誠にありがとうございました。これにて第1回長岡市総合計画策定委員会を終了いたします。